



ふたば

平成29年10月18日
甲府市立千塚小学校
No. 14 文責:校長 中國

学校教育目標
心豊かで
たくましい子ども

未来の科学者訪問セミナー

本県ゆかりの研究者等が、県内の小学校、中学校、高校を訪問し、科学や技術についてわかりやすく語る「未来の科学者訪問セミナー」が千塚小5年生を対象に開催されました。本校では、山梨県立大学特任教授の輿水達司先生をお招きし、生物と水をテーマに1時間講義をしていただきました。輿水先生が自作されたパワーポイント「台風・風水害 ～私たちのまちから考える～」を活用し、千塚小の子ども達にとって身近な千代田湖や昇仙峡、荒川という水系から、アフリカサハラ砂漠や火星に至るまでの大きな視野でわかりやすく、興味深くお話をしていただきました。子ども達は目を輝かせながら聞き入っており、あっという間の1時間でした。当たり前のように使用している「水」について改めて考えるよい機会となりました。



マラソン大会コース決定

11月14日(火)に行われるマラソン大会、本年度のコースは音羽橋から北側のコースと決定しました。決定するにあたっては、マラソン大会は千塚小の伝統的な行事であることや、PTAの皆様の支援がなくては成立しない行事であることから、学校だけの判断でなく臨時本部役員会・PTA運営委員会を開催し、役員の方々の貴重なご意見をお聞きする中で慎重に決定させて頂きました。

学校としては、緊急対応・不審者対応等様々なリスクから一番安全な校庭を考えたのですが、話し合いの結果、校庭ではなくこれまで通り荒川サイクリングロードを利用しながら、安全対策を万全にするということとなりました。そのために今年度は、

- ①サイクリングロードと学校の2会場に養護教諭を1名増員し2名体制で対応すること(昨年度学校に帰ってから体調を崩す児童がいたため)。
- ②緊急車両を3カ所に待機させること。
- ③救急要請のための事前申請書を提出したこと。
- ④コース整備を行うこと(河川事務所にも依頼する)。



新たにこのようなことも実施しながら、子ども達の安全確保に努めていく所存です。

また、今年度は業間体育で校庭を走るペース・自己ペースで完走することをひとつの目的として競走でなく、楽しく走りきる達成感を大切にしていきます。そのため、時間を計測したり順位付けをしたりすることをせず、最後まで走り抜いた児童に「完走証」を渡し、最後まで頑張り抜くことの大切さを指導していきます。

- ①自分の力に合わせたペースで、長い距離を走りぬく力を身につける。
- ②普段の体力づくりの成果を試す機会とする。
- ③マラソンを通し、粘り強い精神と仲間と励ましあう態度を養う。

左記マラソン大会のねらいが達成できますよう、大会当日体調を崩さないようお子様の体調管理には細心の注意を頂けますよう、保護者の皆様のご理解とご協力を併せてお願いいたします。

